

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2016-2017 Rotary International District 2560



国際ロータリー第 2560 地区 2016-2017 年度

ガバナー月信
2016.11.01 Vol. **5**

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1	新入会員紹介・訃報	9
ロータリー財団月間によせて	2	会員数および出席報告	10
社会奉仕委員長セミナー 報告	3	コーディネーターNEWS	11
地区大会記念ゴルフ大会 報告	4	ハイライトよねやま	12
IM 報告 - 第1・3・7分区 -	5	米山梅吉記念館便り	14
柏崎中央 RC 創立 15 周年記念式典	8	ロータリー文庫通信	15

2016-17 年度 ガバナー 田中 政春

田中ガバナー事務所 〒940-2108 長岡市千秋 1-253-3 ベルダンビル 1F

TEL : 0258-86-6236 FAX : 0258-86-7068 E-mail : m.tanaka@rid2560niigata.jp

ロータリー再発見

国際ロータリー第2560地区
2016 - 17年度 ガバナー
田中 政春（長岡西 RC）



紅葉が山を鮮やかに彩り、山の装いに秋の深まりを感じる季節になりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

先日のライラ研修では、次世代を担う職場や地域の若者たちと接し、その熱心な姿、挑戦する姿から新たな大きい活力をもらいました。ふと何気なく「自分自身への挑戦こそ、リーダーの行動力の源である」と、自らの半生を重ね、感慨深く時間を過ごしました。

さて、今月は「ロータリー財団月間」です。また、今年度はロータリー財団100周年の祝賀年度でもあります。1世紀にわたり、世界中のロータリアンの奉仕活動を支え、ロータリーが力を注いでいるポリオ撲滅をはじめとする人道的支援の分野において、ロータリー財団は重要な役割を果たしてきました。そして、このロータリー財団の活動成果をより多くの人に伝えることは、ロータリーの公共イメージと認知度の向上の絶好の機会あると思います。公共イメージと認知度の向上については、既にここ数年来、国際ロータリーの優先項目の一つとして掲げられ、各クラブにおいても積極的に取り組んでいることと思いますが、少しおさらいをしてみます。

公共イメージと認知度の向上を図る第一歩は、皆さまロータリアン一人ひとりの行動と活動姿勢にあるということ。ロータリーを知らない人にとって、接するロータリアンは皆さん一人ひとりであり、その行動や活動姿勢がロータリーに良いイメージをもってもらうことに結びつきます。そのときの重要なツールのひとつがロータリーのバッジです。日ごろから身に着けることによって、「そのバッジは何ですか。ロータリークラブは何をしている団体ですか。」、地域社会でのネットワークが広がり、地域のニーズを知る機会となるはず。地域のニーズにあった奉仕活動を積極的に行い、多くの感動的体験を仲間できちんと分かち合う。奉仕の喜びを感じ「よし、この感動や喜びを多くの人に知ってもらおう。」と情報発信する。こうして公共イメージと認知度の向上へとつながっていきます。

「ロータリーって何ですか。」こう尋ねられたら、どう答えますか。

ロータリー財団や奉仕の活動成果をより多くの人に伝えましょう。奉仕活動からロータリーを学び、ロータリーのよいところを再発見しましょう。次世代のためにも。

時節柄、どうぞ温かくしてお過ごし下さい。

ロータリー財団 100 周年を祝おう

国際ロータリー第2560地区
ロータリー財団委員長
佐々木 昌敏 (小千谷 RC)



国際ロータリーのロータリー財団は、1917年米国ジョージア州アトランタの国際大会において、アーチ C. クランフ会長が世界で良いことをしよう (doing good in the world) という目的で基金をつくり—26ドル50セント—、その基金が1928年の国際大会でロータリー財団と名付けられました。

今では世界120万人のロータリアン寄付は3億ドル(300億円以上)の規模に達し、ロータリーの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じ、世界理解と平和達成に貢献しております。

ロータリー財団の代表的な使命は、ポリオ撲滅であり、奨学生への奨学金支給であり、さらに6つの重点分野(平和と紛争、疾病、母子の健康、水と衛生、識字率向上、経済の発展)を核とする補助金活用による奉仕活動の奨励であります。

あれから100年、ロータリー財団誕生の地であるアトランタで、再び国際大会が開かれます。世界中のロータリアンが集まってロータリー国際大会を祝い、ロータリー財団100周年を祝うのです。

お祝い行事には御祝金を考えることが普通です。何とか工面していただきまして、次にあげます寄付行為を検討くださいますようお願い申し上げます。

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| ① ポール・ハリス・フェロー (PHF) | 累計 1,000 ドル以上寄付 |
| ② マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (MPHF) | その後 1,000 ドル毎に授与される |
| ③ ベネファクター | 恒久基金 1,000 ドル以上寄付 |
| ④ メジャードナー (MD) | 寄付累計 10,000 ドル以上寄付 |
| ⑤ アーチ・クランク・ソサエティ (AKS) | 寄付累計 250,000 ドル以上寄付 |
| ⑥ ポール・ハリス・ソサエティ (PHS) | 毎年 1,000 ドル以上寄付 |
| ⑦ ロータリーカードの入会、利用促進 | 利用金額の 0.3%がロータリーへの寄付 |

各クラブの会長さん、クラブの財団委員長さん、積極的に寄付増進をおすすめいただきたく、切にお願い申し上げます。

社会奉仕委員会セミナー開催のご報告

国際ロータリー第2560地区

社会奉仕委員長 岸 伸彦（長岡東 RC）

平成28年10月1日、RI2560地区田中年度社会奉仕委員会セミナーを開催致しました。当日は、45クラブ、53名の社会奉仕委員長の皆様から登録、出席頂きました。

田中年度ガバナーの基本方針は、「基本を学び、地域と共に」であります。また、重点目標として「奉仕の理想は実践にあり」及び「会員拡充」を掲げておられます。

ガバナー方針に則った社会奉仕活動、それは「地元地域をよく知り、近隣地域への奉仕活動により各クラブが地域の誇りとなり、地域と共に喜びを分かち合い、地域の公共イメージが向上し、会員拡充につながっていく」というスマートサイクルを目指すことであると、地区社会奉仕委員会では理解し企画実施致しました。

セミナーでは、第一に社会奉仕理想の実践のための資金の活用方法として、ロータリー財団補助金委員長の山田雄治様から、地区補助金の活用方法、特に申請方法から受託までの流れをご説明いただきました。講演後は、各クラブより絶え間ない積極的な質疑が繰り広げられ、また山田委員長の丁寧な応答解説により大変活発で得難い有意義な時間となりました。

第二に、「社会奉仕活動における公共イメージの重要性」として、広報・公共イメージ委員長、長谷川啓一様からご説明をいただきました。奉仕活動による広報の重要性やイメージアップを過去の掲載記事を元に解説頂き、また同時に社会奉仕活動事例の閲覧ツール等も含め多面的にご説明頂いたことで、今後の活動の具体的立案に大いに参考になりました。

第三に、当地区社会奉仕委員会より、ロータリーの友事務所の情報提供のご協力を得て、当地区にも応用できそうな社会奉仕活動の事例を多数紹介いたしました。

そして最後に、当委員会高田担当副幹事により引き締まった幹事講評が行われ、無事終了しました。司会は、当委員会の上村宏さんが、また撮影や諸々業務を同じく笹川正子さんが担当してくれました。

参加クラブの皆様の積極的な取り組みのおかげで、大変素晴らしい社会奉仕委員会セミナーとなりました。

月初のご多忙の中、参加いただきました各クラブ社会奉仕委員長様、講師をお引き受けいただいた山田委員長、長谷川委員長、準備お手伝を頂きました田中ガバナー事務所はじめ、社会奉仕委員の皆様にご心から感謝を申し上げます。当地区社会奉仕委員会セミナー開催のご報告とさせていただきます。



田中ガバナー年度地区大会記念親睦ゴルフ大会を終えて

国際ロータリー第2560地区

ゴルフ大会実行委員長 田中 哲夫（長岡西 RC）

2016～2017年 田中ガバナー年度の地区大会記念ゴルフ大会に280名という大勢の方々からご参加いただき、無事に終了することができました。これも皆様方のご協力の賜物と感謝いたしております。誠にありがとうございました。

心配しておりました台風も、プレーに差支えのない天候となりスタッフ一同 安堵した次第です。しかしながら、佐渡南クラブの方々には大変申し訳なく思っております。次回の大会では一緒にプレーできることを楽しみにしております。



また、全員の方からワンオンチャレンジにご参加いただき、誠にありがとうございました。このホールで新潟西R・Cの山本文治郎様が見事にホールインワンの偉業を達成され、大会に花を添えていただきました。誠におめでとうございます。

今大会では至らぬところも多々あり、ご迷惑をお掛けいたしました。ロータリアンの友情に免じてお許しいただければ、幸いに存じます。

最後になりますが、ロータリアンの皆様方のますますのご活躍を祈念し、お礼の言葉と代えさせていただきます。大会にご参加いただき 本当にありがとうございました



第1分区 IM 報告

地域との共生

国際ロータリー第2560地区

第1分区ガバナー補佐 吉田 忠廣 (新発田中央 RC)

日時 2016年9月10日 (土)

場所 月岡温泉 ホテル清風苑

ホスト 新発田中央ロータリークラブ



参加者 新発田 RC 49名、村上 RC 7名、水原 RC 8名、新発田城南 RC 20名、豊栄 RC 14名、
中条胎内 RC 12名、村上岩船 RC 13名、新発田中央 RC 39名、合計180名

ご来賓 山崎パストガバナー



スケジュール

12:30 開場 13:30 式典開会～ 15:20 式典閉会

15:40 懇親会開始 モンゴル馬頭琴、ホームの民族舞踊披露 18:00 懇親会閉会

IM クラブ発表 (テーマをもとに)

新発田 RC 発表者 社会奉仕委員長 鈴木栄二 障害者の社会参加を促す施策と若者の就業的自立を支援調査

村上 RC 発表者副 SAA 木村智子 子供手作りおもちゃ教室の開催

水原 RC 会長 羽田庄一 京ヶ瀬中学校区 KCA との連携支援事業

中条 RC 幹事 伊藤敬一 胎内市総合体育館防災広場照明灯設置及び自主防災訓練支援、村松浜海岸清掃支援、小中バレーボール大会支援

新発田城南 RC 社会奉仕委員長大野博美 新発田城清掃、おやめ箱設置、お堀外来魚駆除

豊栄 RC 会長坂上彰平 若草寮木工教室開催、ミニバス大会支援、福島潟クリーン作戦

中条胎内 RC 前職業奉仕委員長星野富雄 そら倶楽部施設見学と交流会

村上岩船 RC 会長平川啓一 小学生野球大会支援事業、ふるさと防災教室事業

新発田中央 RC 会長高澤健爾 小学校サッカー大会支援、くつは友達キャンペーン

ガバナー補佐総括「ロータリーにとって地域と共にあるは当たり前のことだったんだなと改めて実感したとともに、地域が本当にロータリーに感謝しているのではないかと思いました。素晴らしい体験談や活動報告ありがとうございました」

パストガバナー講評「ポールハリスの創立時のお話をしましたが、まさにロータリーの精神は引き継がれていると思いました。各クラブ甲乙つけがたい素晴らしい発表でした」



第3分区 IM 報告

広めよう、ロータリーの魅力を

国際ロータリー第2560地区

第3分区ガバナー補佐 佐藤 渉（五泉 RC）

平成28年10月16日（日）に五泉市のガーデンホテル マリエールにおいてI.Mを開催しました。次第は式典は2部構成にし、休憩はさんで懇親会を開催するというものです。

式典では、第2560地区田中政春ガバナーより頂戴した祝電が披露された後、パストガバナー鈴木重壺様より、ロータリーとは地域に対し何をなすべきか、どうあるべきかの観点から「ロータリーと地域の関わりについて」をテーマに基調講演を頂きました。その中で田中政春ガバナーの「基本を学び、地域と共に」地区目標について、ロータリーの基本とは何か、との問いにロータリー綱領と4つのテストをふまえながら詳しく説明がなされ、またロータリー地域協働ネットワークの重要性についてもお話をされました。



また、第2部において地元五泉市で大日方医院を開業されている、医学博士、大日方一夫先生より「南極ドームふじ基地での一年」をテーマに記念講演を頂きました。大日方先生は南極に2度行かれ、1度目は1993年～1995年、第35次南極地域観測隊医療担当隊員として、2度目は2002年～2004年、第44次南極地域観測隊副隊長兼ドームふじ基地越冬隊長として任務に従事された体験をお持ちでした。その越冬生活の1年を振り返って、大日方先生のご講演の内容は、低気温、低酸素、低湿度の世界で最も過酷な環境のひとつといわれる「ドームふじ基地」（年平均気温 -54.4 度 最低気温 -79.9 度）での一年間の越冬での仕事、日常生活の様子をたくさんのスライド写真とともにユーモアたっぷり交えながら、お話をされました。



その後休憩をはさんで、懇親会を開宴しました。その会では五泉市伝統文化ひとつの「五泉木遣り保存会」の皆さんから、木遣りを歌って頂き、宴に花を添えて頂きました。最後には、恒例のロータリーソング「手に手つないで」を来賓の方々からもご参加していただきながら、当日ご参加のロータリアン全員で、手を取りあい合唱して宴を閉じました。

第三分区ロータリアンの皆様のご協力により、無事I.M終了することができました。



第7分区 IM 報告

留学生とともに世界あれこれ！

国際ロータリー第2560地区

第7分区ガバナー補佐 佐藤 明臣 (新井 RC)

前日までの、秋の長雨が気持ちよく晴れ渡り、新国立公園妙高連山の山並みが美しく、すばらしい青空を届けてくださいました。国際ロータリー第2560地区第23回 Intercity Meeting に、御来賓の入村明妙高市長はじめ、多くの留学生モンゴル (2名) ベトナム (1名) ラオス (1名) 中国 (3名) アメリカ (1名) マレーシア (9名)、地区内8クラブ総勢183名の皆様方より御参加いただき、大変ありがたく、深く、深く感謝申し上げます無事に終了いたしました事、第7分区8クラブの会員の皆様に、感謝と御礼申し上げます。

本年度 RI のテーマ「ROTARY SERVING HUMANITY」田中政春ガバナー地区目標「基本を学び地域と共に」を理解し、第23回 IM のメインテーマを「留学生とともに世界あれこれ！」と考え IM の開催に臨みました。3名のゲストスピーカー、ムンフバド メンデサイハン様 (モンゴル)、ティ ジャイー様 (マレーシア)、荒牧和沙様 (日本) による、皆様それぞれの日本での思い、世界を見据えたすばらしい体験発表だったと思います。後日荒牧様より、新井クラブに貴重な体験をさせていただきましたと御礼状が届きました。

この IM 開催を記念して、未来に向け異文化を理解し、豊かな国際性を育む事を目的に、第7分区ロータリアンの皆様と、国際社会への取り組みと関心を高めていただくために、外国人市民と共に事業展開しております公益社団法人上越国際交流協会様に活動費として協力させていただきました。

「HUMANITY」に奉仕することを、この IM にて学び、今日の IM に御参加の皆様、如何でしたでしょうか。「妙高の食欲の秋」を楽しんでいただけましたでしょうか！「留学生とともに」国際理解を踏まえながら、交流していただけましたでしょうか！

最後に第23回 IM 開催にあたり、佐藤英明 IM 実行委員長はじめホスト・新井ロータリークラブ一丸となって協力していただきました事に、御礼と感謝を申し上げ、ご報告とさせていただきます。

有り難うございました。



～15年の集大成、そして更なる飛躍を～

柏崎中央ロータリークラブ

会長 牧口 幸嗣

10月15日にメトロポリタン松島において、創立15周年記念式典を開催致しました。当日は天候にも恵まれ、伊丹敏彦ガバナー補佐、スポンサークラブの柏崎東ロータリークラブをはじめとした第5分区のクラブ、そして、台湾から姉妹友好クラブの台中中科ロータリークラブのメンバーも駆けつけ150名を超える



大勢の方々にお越し頂きました。

10周年の記念式典を先の東北大地震で中止を余儀なくされた経緯もあり、今回の式典を成功させようという実行委員会を中心とした熱意は並々ならぬものがありました。式典前の特別公演として居合道演武（流派：夢想神伝流）が行われ、真剣の迫力ある研ぎ澄まされた武道に一同、固唾を呑んで見守りました。

第1部の式典の中では、ガバナーからのお言葉として「二度の地震、社会環境の激変を乗り越えてきた貴重な経験を生かし更なる発展を期待する。」という有り難い言葉を頂きました。そして、スポンサークラブの徳間会長の挨拶の後に、台中中科ロータリークラブとの記念品交換が行われ熊本地震の義援金も中央クラブに贈呈されました。また、現会長から歴代の第5代から15代までの会長に感謝状も手渡されました。



第2部の祝宴では、実行委員長の挨拶から鏡開演し、当クラブの変遷と台中中科ロータリークラブとの交流の様子が颯爽としたBGMと写真と共に紹介され、会場の感動と笑いを誘いました。そして、アトラクションではかわいらしい少女のユニットのダンス、メインイベントとしてDJブースからのディスコミュージックで、台中中科のメンバーも思わず一緒に踊りだしてしまうほどでした。「手に手つないで」で最後は締めくり終始和やかなムードで盛会のうちに終了致しました。

割りならぬ鯛の塩釜割りで

15年とまだまだ歴史の浅いロータリークラブではありますが、『おもてなし』ということに関しては天下一品です。厳粛な中にもユーモア(?)な映像と澄んだ声のナレーションを織り交ぜたクラブの歴史紹介や柏崎ならではの食材とお酒を振る舞う屋台が軒を連ねるなど実行委員会の努力の結晶が現れた記念式典でした。

これから30年、40年に向けてクラブの結束が確認できたそんな1日でした。



新入会員 紹介 (敬称略)

RC名	お名前	入会日	会社名
新発田城南	羽賀 直樹	2016.10.13	エコ文具のHaga
新 潟	大沼 公成	2016.10.18	(株)第四銀行
新 潟 西	谷合 伸郷	2016.09.01	(株)Simple Agent
吉 田	藤田 秀典	2016.10.01	福巖寺
長 岡 東	小石 琢磨	2016.10.05	大和証券(株)長岡支店
長 岡 東	柿原 督史	2016.10.05	住友生命保険相互会社 長岡支社
糸 魚 川	内藤 正利	2016.10.01	黒部川電力(株)



第2560地区 2016-17年度 9月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	9月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	86.42	371	375	37	4
新発田	3	96.88	97	99	0	2
村上	4	80.00	36	36	8	0
水原	3	85.07	25	26	1	1
中条	4	93.06	35	36	3	1
新発田城南	4	83.55	40	39	5	-1
豊栄	3	90.11	27	27	3	0
新発田中央	4	80.76	48	48	5	0
中条胎内	5	86.67	33	33	6	0
村上岩船	3	81.72	30	31	6	1
第2分区(9クラブ)	／	83.80	440	453	20	13
新潟	4	84.68	92	98	0	6
新潟東	5	89.47	62	63	8	1
新潟南	4	77.41	97	99	1	2
佐渡	5	85.70	7	7	0	0
新潟西	3	88.76	37	39	1	2
佐渡南	4	95.94	42	42	4	0
新潟北	3	64.56	42	42	0	0
新潟中央	4	80.00	25	25	0	0
新潟万代	3	87.72	36	38	6	2
第3分区(6クラブ)	／	75.58	131	130	8	-1
新津	4	71.05	19	18	0	-1
村松	4	75.00	10	11	0	1
五泉	3	84.31	18	18	3	0
白根	4	79.76	42	42	3	0
新津中央	4	73.34	31	30	1	-1
阿賀野川ライン	4	70.00	11	11	1	0
第4分区(11クラブ)	／	78.29	362	367	22	5
三条	3	90.52	55	55	0	0
燕	4	67.11	33	35	1	2
加茂	4	96.43	28	28	4	0
三条南	2	87.03	51	51	2	0
分水	4	74.40	32	32	3	0
見附	3	70.00	20	19	1	-1
吉田	4	88.28	32	32	2	0
三条北	4	84.47	65	66	3	1
巻	4	71.10	9	11	0	2
田上あじさい	5	54.30	6	7	1	1
三条東	4	77.50	31	31	5	0

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	9月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	89.59	313	322	28	9
長岡	4	87.12	40	43	2	3
柏崎	4	86.91	42	46	0	4
長岡東	4	89.60	69	68	7	-1
柏崎東	3	98.18	53	55	5	2
栃尾	4	88.46	21	21	0	0
長岡西	4	83.83	52	53	6	1
柏崎中央	4	93.06	36	36	8	0
第6分区(6クラブ)	／	82.27	156	159	11	3
十日町	4	97.85	34	35	3	1
小千谷	3	87.19	40	40	3	0
雪国魚沼	4	72.70	24	25	4	1
十日町北	3	86.11	23	24	0	1
津南	3	77.78	27	27	1	0
越後魚沼	4	72.00	8	8	0	0
第7分区(8クラブ)	／	79.52	324	329	29	5
高田	4	98.01	61	62	0	1
直江津	4	74.06	51	51	4	0
新井	4	83.87	32	33	3	1
糸魚川	4	75.00	42	42	3	0
高田東	3	75.83	40	40	2	0
糸魚川中央	5	76.67	36	36	0	0
頸北	4	82.70	15	15	1	0
越後春日山	4	70.00	47	50	16	3

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,097	人
9月末 会員数	2,135	人
女性会員数	155	人
純増減会員数	38	人
当月平均出席率	82.21	%

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2016年11月号

発行: Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
今月号の担当 Zone 3 RPIC

■ ロータリーの公共イメージ向上活動と実践方法

コーディネーターNEWS10月号で第一ゾーンRPIC渡辺敏彦様が各地区ガバナーや地区とクラブの担当委員長が公共イメージ向上活動に取り組むべき方針とその活動分野について詳しく述べられました。各クラブや地区が取り組んでいる各分野の意義あるロータリー活動を対外的に適切に広報し、ロータリーのブランド価値を高めて行くことが現代社会では求められております。しかしながら陰徳を尊ぶ日本ロータリアンの公共イメージ向上への積極的な意識と対応はまだ低いと言わざるを得ません。ロータリーのブランド価値を各クラブや地区が高める努力を続けることによって、最終的には各クラブの会員基盤の強化とロータリーの発展に繋がることを理解しましょう。

■ 今月号ではTRF100周年記念プロジェクトの一環として実施された2件の写真をご紹介します。

その1件は広島東RCが実施されました広島市内の路面電車に搭載されました「END POLIO NOW」の動く広告です。本プロジェクトは広島市民はもとより、国内や海外各国から広島を訪れている観光客が大幅に増えている中でロータリーのイメージ向上に大きな力になりました。広告電車運航開始日の模様が中国地方の有力紙である中国新聞に写真入りで紹介されました。

もう1件の写真は大阪中之島RCがベトナムのダナンの市民病院へ派遣しているVTT医療チーム派遣プロジェクトです。本件は友10月号でも紹介されましたが、日本の最先端のハイテク医療技術がベトナムのダナン病院へ伝授されることになり、現地の医療関係者や受益者から高く評価されております。ベトナムにはロータリークラブがまだ存在しておりませんが、この様なロータリーの意義あるプロジェクトが地元で広く報道されておりますので近い将来ロータリークラブの誕生に繋がる事が期待されております。

■ クラブ数 会員数

Zone 1	830	28,648
Zone 2	651	28,100
Zone 3	793	32,856
合計	2,274	89,604

(2016年10月6日現在のClub Centralのデータです)

■ BOX登録件数

Zone 1	53件
Zone 2	27件
Zone 3	79件

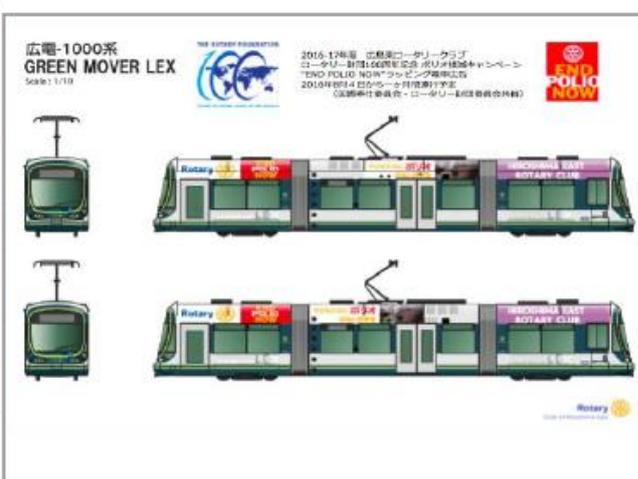
8月19日現在 合計 159件

■ 各クラブや地区では国内や海外に於いて数多くの素晴らしい奉仕活動を展開頂いておりますが、そのことを広く一般社会へお伝えする努力がなかなか伴っていないことが、日本のロータリーの課題の一つです。ロータリーについて最もよく知り、私達の活動を最もよく伝えることができるのはロータリアン一人一人です。皆様のご理解ご尽力を宜しくお願い申し上げます。

(Zone 3 RPIC 横山守雄)



ベトナムのダナンの市民病院へ派遣しているVTT医療チーム派遣プロジェクトです。



このイラストは広島市内の路面電車に搭載された「END POLIO NOW」の動く広告です。



ハイライトよねやま 199

2016年10月12日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会



10月は米山月間です。
もともと1975年に、米山奨学事業への理解を深めていただくため、梅吉翁が逝去した日を含む4月22～28日を「米山週間」と決定したことが始まりです。その後、ロータリー雑誌週間と重なっていたことや、事業報告書を各クラブに送付する時期の関係から、米山週間は10月に移されました。1983年度からはロータリーの週間制度が「月間」となり、現在に至ります。

寄付金速報 — 米山月間へのご協力をお願いします —

9月までの寄付金は前年同期と比べて2.1%減（普通寄付金0.6%増、特別寄付金5.5%減）、約800万円の減少となりました。前年度の寄付額が高かったため、前年度比は減少となっておりますが、寄付累計額としては直近10年間のうち、3番目に高い金額で、依然好調を保っています。皆様からのご寄付に心より厚く御礼申し上げます。10月は米山月間です。これからも引き続き、ご支援賜りますようご協力をよろしくお願い申し上げます。

坂本ドネイション・ファウンデーションとの調印式

10月3日に坂本ドネイション・ファウンデーション（株）の株式譲渡に伴う（公財）ロータリー米山記念奨学会との調印式が行われました。代表取締役の坂本精志氏、取締役の坂本春代氏、事務局長の坂本精一郎氏、当会からは小沢理事長はじめ常務理事会の役員が出席しました。

坂本精志氏（名古屋名東RC）は2000年4月のベトナム出身の米山奨学生をはじめ、これまでに米山奨学生3人のカウンセラーをされ、一人でも多くの留学生を支援しようと2008年には当会に1億円の寄付をされ、現在までに第1,166回の米山功労者となりました。さらに米山記念奨学事業に貢献したいとの思いから、企業活動を通じて公益事業等を営む団体・個人を支援し、社会に貢献することを企業理念とする坂本ドネイション・ファウンデーション（株）を2011年に設立し、当会への法人寄付を続けて来られました。このたび、株式譲渡のお話をいただき、坂本氏のご厚意に応えようと当会では常務理事会、理事会、評議員会での審議を経て、定款変更等条件を整え受領することとなりました。調印式では小沢理事長から坂本精志氏と坂本春代氏のこれまでのご奉仕に感謝して、感謝の盾と感謝状を贈呈させていただきました。（事務局長 岩邊俊久）



左から坂本精志氏、春代令夫人、小沢理事長

【訃報】副理事長 杉谷卓紀氏（第2720地区）逝去

副理事長の杉谷卓紀氏が10月11日にご逝去されました。杉谷氏は2007-08年度および2008-09年度国際ロータリー第2720地区ガバナーで、2014-16年度RI理事を務められました。当会においては評議員、学務・学友委員としてのご奉仕を経て、今年9月から副理事長に就任されたばかりでした。ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈り申し上げます。

マレーシア米山学友会が設立されました

9月12日、マレーシア・ペナン州で、米山学友会の創立総会が開かれ、学友21人が出席しました。今年5月のソウル国際大会への参加を機に、急速に結束を強めたマレーシアの学友たちが学友会創立に向けて動きだし、早期に実現したものです。創立会長に就任した黄麗容さん(2001-04/横浜泉RC)は、「日本在住の学友にも声をかけ、マレーシアと日本の両方で、地域の環境保護や教育に貢献できる活動を計画しています。参加する学友や後輩たちの誇りになるよう頑張りたい」と抱負を語りました。今後、12月の当会常務理事会での承認を経て、正式に海外8番目の米山学友会となります。来年2月18日には設立記念パーティを開催予定で、日本からも多くのお客様をお迎えしたいと、学友会で準備を進めています。



上海米山学友会が小学校を支援



上海米山学友会が9月4日、甘肅省の小学校へ2回目の奉仕活動を行いました。

同学友会が昨年から支援しているのは、甘肅省臨洮県(りんとうけん)の山中にある貧しい小学校。この地へ県長として赴任し2年前に亡くなった米山学友、柴生芳さん(享年45歳、2001-02/神戸中RC)を記念して始められたものです。

昨年は柴さんの名を冠した図書室を寄贈、今回は、劉京榕 会長(2000-01/八日市南RC)と周峰 副幹事長(2009-10/名古屋和合RC)が2日間かけて現地訪問し、パソコン2台を寄贈しました。これらはすべて学友会メンバーがお金を出し合ったものです。

この小学校には就学前児童を含めて92人が通っています。2年連続で訪問した劉会長は、「学ぶ環境を少しでも整備し、故郷の未来をつくる人材に育ててほしい」と語り、周さんは「子どもたちの笑顔を見た瞬間、すべての苦勞が吹き飛びました。来年はもっと大勢の学友と一緒に訪れたい」と、話してくださいました。



2016年に開催される海外米山学友会総会のご案内

韓国 2016年11月19日(土) 17:00~20:30

会場：シェラトン・ソウル・パレス江南ホテル Sheraton Seoul Palace Gangnam Hotel, Dynasty Hall(ソウル特別市瑞草区 Seocho-gu, Seoul)

申込：eメール dreaming0628@gmail.com / TEL +82-10-9218-1407(会員管理担当: イビョンウ)

台湾 2016年12月17日(土) 受付13:30~(総会14:00~、懇親会17:30~)

会場：サンライズゴルフクラブ(桃園市楊梅区 <http://www.sunrise-golf.com.tw/sunrise.jp/>)

申込：日本ロータリアン→当会事務局 武本へ。学友・奨学生→rotary_yoneyama@yahoo.com.tw



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281

E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当: 野津(のづ)・峯(みね)

米山梅吉記念館便り

シリーズ③ 米山梅吉の横顔

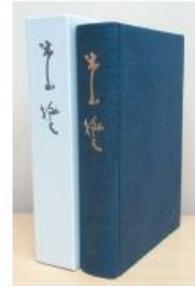
米山梅吉は、在米8年、皿洗いや学僕で学資を稼ぎ、加州のベルmont・アカデミー、オハイオのウェスレアン大学、さらにニューヨークのシラキュース大学に転じました。ウェスレアン大学からマスター・オブ・アーツ称号を得ています。

明治28年に帰朝、文藻に秀で国の将来も見据えていた若者らしく、職業は新聞記者を希望しましたが、米山は結婚し、翌年長女愛子を得ていましたので生活を考え、日本鉄道会社に就職。ここは技術畑が強かったために、畏友藤田四郎に相談。藤田の岳父は井上馨候という財界の雄、井上の口添えで明治30年10月29歳の時、三井銀行に入行しました。



三井銀行本店営業部勤務から大阪支店長代理時代(明治33年頃・33歳頃)

米山梅吉関連図書の紹介



A5判 上製本ケース付
本文590ページ/4,000円

米山梅吉伝

出生から晩年まで、さらに三井銀行、青山学院、三井報恩会、ロータリー関係者、生前の米山と親交があった人達の証言を交えて、様々な角度から米山の人となりやうかがい上げられています。「梅吉を知るにはまずこの本から」の1冊です。和歌や俳句、漢詩など、趣味の人米山の一面を知る事もできます。

米山梅吉記念館のホームページを新しくします。

2019年には記念館創立50周年を迎えますので、その記念事業の一環としてリニューアルし、米山梅吉に関する年表や人物像などの記述を充実させる予定です。ご期待ください。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email: yumh@ai.tnc.ne.jp
[開館時間] 午前10時～午後4時
[休館日] 月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



「My Rotary」への

ご登録はお済ですか。

「My Rotary」とは、ご登録いただくことでロータリーの活動や地区・クラブ運営に必要な情報やデータを随時入手できる便利なシステムです。

まだご登録がお済でない方は、

www.rotary.org/myrotary/ja から是非ご登録下さい。

文庫通信 (350号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

デジタル化されたロータリー文献(5)

- ◎「ロータリーに関する十四の断章」 松井幸雄 東京千種会 1973 147p
- ◎「ロータリーの道しるべ」 長崎南R.C. 1987 128p
- ◎「新会員のための『ロータリー情報』」 東京江東R.C. 1988 20p
- ◎「ロータリー・チャンネル」 長崎南R.C. 1992 44p
- ◎「ロータリー情報 広報ABC」 [油木恒久] 朝霞R.C. 2000 93p
- ◎「ロータリーへのご案内 2001年版」 長岡成郎 2001 43p
- ◎「ようこそ・ロータリーII ロータリーが10倍楽しくなる」 青森北東R.C. [2005] 24p
- ◎「これだけは知っておきたいロータリーの基礎知識」 浦和R.C. 2010 74p
- ◎「ロータリーの日常の知識」 三木 明訳 2010 83p
- ◎「ロータリーの心と実践 2012年改訂版」 D.2660 2012 103P

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日